

1-1 建物概要				1-2 外観	
建物名称	厚生施設	階数	地上4F		
建設地	神奈川県横須賀市船越町7丁目71番1、他	構造	RC造		
用途地域	工業地域	平均居住人員	441 人		
地域区分	7地域	年間使用時間	8,760 時間/年(想定値)		
建物用途	事務所,飲食店,集会所,等	評価の段階	実施設計段階評価		
竣工年	2025年3月 予定	評価の実施日	2022年5月29日		
敷地面積	5,667 m <sup>2</sup>	作成者	高垣 真仁		
建築面積	2,304 m <sup>2</sup>	確認日	2022年5月30日		
延床面積	5,437 m <sup>2</sup>	確認者	車田 寛		

### 2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

**BEE = 0.6** ★★★★★

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

### 2-2 ライフサイクルCO<sub>2</sub>(温暖化影響チャート)

標準計算

30%: ★★★★★ 60%: ★★★★★ 80%: ★★★★★ 100%: ★★★★★ 100%超: ★★★★★

①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外の ④上記+

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量の目安で示したものです

### 2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

### 2-4 中項目の評価(バーチャート)

**Q 環境品質** **Q のスコア = 2.4**

#### Q1 室内環境

Q1のスコア = 2.6

#### Q2 サービス性能

Q2のスコア = 2.8

#### Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 1.7

**LR 環境負荷低減性** **LR のスコア = 2.8**

#### LR1 エネルギー

LR1のスコア = 2.9

#### LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 2.8

#### LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 2.8

3 設計上の配慮事項		
<b>総合</b> ・室内環境への配慮。 ・耐震性、メンテナンス性を高めることにより建物の長寿命化を図る。	<b>その他</b> ・特に無し。	
<b>Q1 室内環境</b> ・Low-E複層ガラスを採用し、断熱性能を確保した。・'昼光率2階事務室(10) 3.56%。・2階事務所: プラインド、庇でグレアを制御。・使用する建材は全てF☆☆☆☆とする。・自然換気有効開口面積が居室床面積の1/30以上。・条例により全館禁煙としている。	<b>Q2 サービス性能</b> ・各階階高3.90m以上。 ・壁長さ比率0.1以上0.3未満。	<b>Q3 室外環境(敷地内)</b> ・特に無し。
<b>LR1 エネルギー</b> ・BPI <sub>m</sub> =0.95。	<b>LR2 資源・マテリアル</b> ・自動水栓に加え、節水型便器を採用。 ・有害物質を含まない防水工事のプライマーを採用。	<b>LR3 敷地外環境</b> ・LCCO <sub>2</sub> 排出率=87%。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修・解体廃棄に至る一生涯の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 ■評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される